

第5回武蔵村山市廃棄物減量等推進審議会会議録

開催日時	平成19年11月27日(火)午後2時～
開催場所	市民会館(集会室)
出席者 (8名)	除本理史、片山務、小林なほみ、荒幡耕司、藤居真洋 比留間勉、樋口豊子、渡邊順子
欠席者 (2名)	菊地茂、鈴木寿子
傍聴者 (0名)	
事務局	比留間環境課長、鈴田ごみ対策主査、内野
配布資料	* 武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画(案) * 廃棄物減量審議会経過及び廃棄物処理基本計画 策定日程(案) * 第4回武蔵村山市廃棄物減量等推進審議会会議録

議題	1 武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画の改訂について 2 その他
----	------------------------------------

<p>会 長</p>	<p>前回の議事録は、簡単な物ですがご確認をお願いいたします。視察した施設の概要が書かれています、ご承認をお願いいたします。</p> <p>本日は、小林先生から教育分野での取り組み状況を伺うこと、もう一つは、基本計画の改訂案が出されました、これはあくまでも、たたき台だと思います。スケジュールも一緒に示されていますので内容の議論を始めたいと思います。</p> <p>事務局から、 委員にお伝えしていただけましたか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。小学校での取り組み状況について、お伝えいただきたいと事前をお願いしております。</p>
<p>会 長</p>	<p>趣旨が何処まで伝わっているか不明ですので、ご説明させていただきます。</p> <p>今までの、経過については議事録等でご承知していることとおもいます。排出されているごみの中身を確認してみますと、資源になる物が混在して排出され、リサイクル率を下げている現実があります。これは、各家庭での取り組みに非常に依存するわけで、それを改善していくうえで、ごみ分別の教育は非常に重要だと考え、大人の行動に影響を与える意味で、お子さんが率先して各家庭で、ごみの分別を行なうことが必要と考えました。</p> <p>最近の、小学校教育は色々変わってきており、十分に理解していないのですが、例えば総合教育の枠組みの中で行なっていると理解していますが、その内容を改善する余地がどのくらい残っているのか考えています。</p> <p>私自身が推測しているのは、旧来の社会科見学的なものとして、ごみ処理施設の見学を行っているのかなと思います。ただ、もう少し各家庭での取り組みを、お子さんが率先して行なうには、ただ見学を行ない、現状を見るだけではなく、手選別等を実践するなど体験を取り</p>

委員

入れないと難しいのかなと思っています。ですから、今の学校教育の中で、ごみ分別についてどのように行なっているか現状の部分と、リサイクル率を向上させるため、お子さんの家庭での行動を促していくようなカリキュラム改善の余地が残っているのかお聞きしたいのです。

前回、前々回欠席いたしまして申し訳ございません。欠席が続きましたので、的外れになるかもしれませんがお話をしたいと思います。

まず、学校のごみの状況ですが、小学校の場合は4年生の社会科の学習に授業としてあります。各家庭での、ごみの状況を調べたり、そのごみが何処に行き処理されているか学習しております。それから、第二小学校4年生は、公開週間でも授業を行い、授業実践交流会でもごみの話を聞いています。公開週間の後半には、市からも出張したいいただき、ごみの学習を行ないました。

また、具体的な体験も行なっています。学校でも、沢山のごみが出ることを理解させるため、一定期間を定め各教室から出るごみを集め、自分たちで市の分別に従い仕分などを行ないました。その過程で、学校から出るごみでは、いかに、紙のごみが多いかが理解されました。

そのような状況の中で、紙の大切さ紙のリサイクルについて理解を深めることが出来ました。

学校全体で、取り組んでいることといたしましては、給食を残さずに食べようということ、これは、残さなければ残采が発生せず、ごみが減量されることになり、ごみ減量の取り組みの一つとなっています。また、市の指導ということで、市の分別に従い細かく分別して排出しています。4年生の学習の中でも、月毎のごみカレンダーを基にしまして、子供たちも燃やせるごみが週2回、2週に1回しかないびん・缶類等々、何故このようになっているのか理解させています。

	<p>その他、先生方個人的にですが、給食のパンを細かく砕き、発酵剤を入れ肥料作りや利用などを行っています。また、プリント類につきましても、紙の無駄を省くため、教員だけの会議資料等につきましても、使用済みのプリントを再利用するため、裏紙を利用して会議資料等としております。</p> <p>今、会長からお伝えいただいた、カリキュラムの改善の余地はどこにあるかとお尋ねですが、4年生で十分行なっており、あと考えられますのは、総合の学習の中で高学年では、消費社会と環境等と国語の授業でも行なっており、それと絡め環境問題を考えていくことが出来ると考えられます。</p>
会 長	<p>今のお話の中で、もう少し細かくお聞きしたいことはございますか。</p> <p>では、私からお聞きしたいのですが。</p>
	<p>4年生の社会科の授業で、取り組まれているということですが、他の学年でカリキュラムの中で行なうことは、今のところないということですか。</p>
委 員	<p>はい。</p>
会 長	<p>4年生に対して年間どの程度、この関連の時間を割いていますか。</p>
委 員	<p>正確ではないのですが、概ね年間10時間ほどです。</p>
会 長	<p>10時間は、駒数ですか。</p>
委 員	<p>1時間、45分授業で10駒と考えてください。</p> <p>10時間以上かもしれません、3週間続けて行なっていますので。</p>

会 長	週 1 回取り組んで、3 週間くらいなのですか。
委 員	いいえ、社会科の授業は週 3 時間ですから、それを 3 週続けます。
会 長	そうなりますと、9 駒から 10 駒になりますね。
委 員	足りない分は、総合で入れていますので、10 時間プラスアルファかと思います。
会 長	社会科の学習を行なう場合は、教室で行なうのですか。
委 員	そうです。
会 長	それは、例えば各家庭でお伝えいただいたのは、宿題みたいな形ですか。
委 員	そうです。 あとは、市のリサイクルセンターの見学とか、4 年生の社会科見学の時に中央防波堤などの見学を行なっています。
会 長	リサイクルセンターの見学を含め、社会科の枠内なのですか。
委 員	そうです。そうしますと時間はもっと増えます。
会 長	各家庭での宿題の内容は、具体的にはどのようなものなのですか。 例えば、何を調べさせるのですか。
委 員	私、申し訳ございませんが深く理解しておりません。多分一日に家

<p>会 長</p>	<p>から出るごみの量等を調べてみるとか、そのような内容かと思っています。</p> <p>ごみは何処へ。</p> <p>行き先は、教室で先生が教えているのですか。</p>
<p>委 員</p>	<p>教科書にも載っているんです。リサイクルされるもの、最終処分するもの等教科書で学習しています。</p> <p>過日、ごみ収集車が学校に来る時間を確認し、収集車両に詰め込まれる状況も見せました。</p>
<p>会 長</p>	<p>私自身が、家庭の中での取り組みで、奇異に感じているのは、一つはリサイクル率の関係で分別状況。もう一つは難しいですが排出抑制。この間、皆さんのお話を伺いデータを確認して、直ぐに進みそうなのは分別なんです。混入率が高いですので、減らすと言うのは消費水準を下げなければなりませんので難しいことなのですが、例えば、庭などを使って上手に生ごみを処理していかなければ難しいことになります。</p> <p>分別は比較的易しいことで、決められた日に決められたものを出すということですから、ここの部分を何とかできないのかなと思います。個々のご家庭では、親に意識がなかった場合、混入率がどんどん高まることになります。お子さんが関心を持ち、率先して取り組めば親の意識も変わってくるだろうと言う考え方があるわけです。</p> <p>このような所に焦点を当て、カリキュラムを組むと言うように考えていかないと、まんべんなく学習する方法ですと焦点がぼやけてしまいます。私自身、大学で環境経済学の授業を行なっています。教科書に書かれていることを、一から十までまんべんなく教えるのも意味はあるのですが、焦点がぼけて面白くなくなります。勿論、環境教育や</p>

<p>委員</p> <p>会長</p>	<p>学校教育は分別とカリサイクルを進めるためだけのものではありません。</p> <p>環境政策の側から申しますと、学校教育とは政策手段の重要な一つなのです。そのことを考えると、環境政策の側からすれば、あるターゲットに沿ったカリキュラムをなるべく具体化していくことは、環境政策に側から見れば大事な考え方になります。</p> <p>ご家庭の中から、色々なごみが出てきて、その中で紙ごみが多いという、量の比率だけを見るのではなく、実際に混入して捨てられていることを改善しなければいけない、そのことを担当の先生方がターゲットとして選定して、中心的に目を向けさせるように出来ていけるとすれば、環境政策の側からすれば良い効果が生まれると考えます。</p> <p>そのような観点から見ますと、そこにポイントを絞って行くことが出来るのか関心を持っています。</p> <p>学校教育としましては、学校の主体は子供の意識を変えらるということですから、まず子供たちが、自分としてごみを減らすとか、それからごみについて分別しなければいけない等、ごみに関しての理解を深めることが小学校教育だと思いますので、そちらの方の意識は波及的に触れる程度で、そこに集約するようなカリキュラムは厳しいと思います。</p> <p>集約することと少し違うのですが、ただ、先生方の意識として、本市のごみ問題について、家庭での課題を必ずしも意識していないと思います。そのところを、各先生方が理解するだけで、教育の重点の仕方が変わってくるのではないのでしょうか。</p> <p>そうなりますと、お子さん方に伝わるものが変わってくるのではないのでしょうか。カリキュラム自体を変えるのではなく、先生方が、本市のごみ問題の状況をもう少し知るところを始める必要があるのでは。</p>
---------------------	---

	<p>例えば、家庭でごみを減らすことに集中すると、大変難しいわけです。分別であれば比較的容易に出来、リサイクル率が上がるかもしれませんが。</p> <p>先生方との交流は出来るのではないのでしょうか。</p> <p>これは、ここでの議論の範疇から少し外れているかもしれません。実際に、学校の先生方とごみ担当者の意思疎通が、どれだけ出来るかこれはカリキュラムを変更するより有効だと考えます。</p> <p>事務局にお聞きします。</p> <p>先生方を対象に、出前講座的なものを行なったことはございますか。</p>
事務局	<p>実際に、クリーン作戦を行なう時に、分別方法等を知らせています。かつて一度だけ、学校の先生に対して行なったことがあります。</p>
会 長	<p>これは、学校単位に行なったのか、一部の学校からの要請かどちらですか。</p>
事務局	<p>学校からの依頼で行ないました。</p>
会 長	<p>個別の学校に限定されるのですね。</p>
事務局	<p>小学校 4 年生には、ごみの副読本として「ごみと私たち」を渡しています。皆様方に、お渡ししていればご説明できましたが。</p> <p>今、直ぐにお持ちいたします。</p> <p>副読本では、本市のごみの状況が分かるようになっております。これを見ていただければ、ごみの流れが分かるようになっております。</p>
会 長	<p>ごみの処理フローはどこでも同じですから、どういうごみが多いの</p>

<p>委員</p>	<p>か、というような具体的な数字が伝わらないとあまり意味がないのではないのでしょうか。</p> <p>これは、お子さんに伝えるのではなく、先生に伝えることですから分別しても混入が多い等、理由を伝えるようにしないと理解されないと思います。</p> <p>本市の、ごみの分別の仕方は、教員に必ずしも伝わっていないように感じます。色々な市から、教師として派遣されています。そうしますと、ごみの分別方法は各市違いますので、住んでいるところと、職場で分別方法が違ってきます。そうしますと、今の混入率が、何処までの混入かイメージが浮かばないのです。</p> <p>その意味で、本市の分別を浸透させるには、先生方に対するお話が大切だと考えます。</p>
<p>会長</p>	<p>おっしゃるとおりです。</p>
<p>委員</p>	<p>家庭と事業所では、分別が違うのですか。</p> <p>私の住んでいる所では、ラップ類は燃やせるごみですが、本市では資源となっています。ですから、イメージが浮かばないのです。</p> <p>混入のもんだいも、そこから紐を解いていかないといけないと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>各先生方に、学校でここまで分別しているのは、どのような理由があるのか理解していただく必要があります。</p> <p>分別の方法の違いは、処理の委託の関係もあると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>本市は、処理委託先は同じですね。</p>

<p>会 長</p>	<p>お子さんに、抽象的に燃えるごみ、燃えないごみを分けましょうというだけでは、殆ど意味を持ちません。</p> <p>家庭で直面する問題は、このごみは何処に捨てたらいいのかということです。先生方は、様々な所にお住まいですが、この市の分別体系を理解する必要があるということです。ごみの流通ルートが違う場合は、そのこともお子さんに説明する必要があります。</p> <p>そこまで、市が面倒を見る必要もあると考えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうしますと、4月の初旬頃に先生方にお集まり願ひ、ごみの説明を行うことを検討する余地があると思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>具体的な話を行なうほうが良いと思います。例えば、5つくらいのサンプルを見せ説明するところから始め、ごみの説明を行う方法等が考えられます。市の、職員自身が、様々な地域に住んでいる問題もありますが。</p>
<p>委 員</p>	<p>学校での、ごみの分別は限られたごみですので、ちゃんとできるのです。家庭に入ると、様々なごみがありますので、子供から見ると厳しい感じだと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>分別方法を実地で行い、ある種のゲームとして面白く行なうようなことが出来ませんか。子供が関心を持てば、面白がって進んで行くような気がします。</p> <p>私自身は、そのようなことはあまり良いこととは考えていませんが、欧米などでは、良く出来たものには得点を与えゲーム化する教育の方法があります。</p>
<p>委 員</p>	<p>学校で行なっている、社会科の授業では、学校にあるものを分別す</p>

	<p>る体験も行なっています。また、青少対の主催で「クリーン作戦」を行い、分別してごみを集めています。この分別は、大人が子供に教えながら行なっています。</p>
<p>会 長</p>	<p>他の委員の方はいかがでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>私が、実際に小学校の時に行なったのは、家庭からごみをビニール袋で一袋持ち寄り、そのごみを分別しました。学校のごみではなく、各家庭のごみで行ないました。</p>
<p>会 長</p>	<p>お生まれはどちらですか。</p>
<p>委 員</p>	<p>大阪です。</p>
<p>会 長</p>	<p>今お伝えいただいた方法は、本市では行なっていますか。</p> <p>分けるのが、難しい。何の日に出すのか迷う。取り合えず、燃やせるごみに出してしまう。そのあたりの意識を変えるのがターゲットになりえます。可燃・不燃と言うように漫然と分けるだけでは、間違っ てしまい、問題とならない事態にもなりかねません。</p> <p>本来は、資源として出してもらいたいものが、可燃ごみに出されてしまうと、可燃ごみの割合が多くなってしまいます。分別を促進するためには、資源として出してもらいたいものが、可燃として出されてしまっている、そのことが分かるように教えなければならないと考え ます。</p> <p>ここで、私がお伝えしたいのは、漫然として教えないで、焦点を絞 ると言うことです。</p> <p>この点は、事務局のほうでご検討をお願いいたします。</p> <p>他に、ご質問等はございませんか。</p>

委 員	<p>プラスチック類は、汚れていれば可燃ごみ、汚れていなければ資源ですが、この基準はどうなっているのですか。</p>
委 員	<p>実際は、細かいものを一つ一つ探すわけではありません。ただ、汚れたものは臭いが問題なのです。洗っていないものでも、リサイクルは可能なのですが、仕分けの段階で悪臭に悩まされます。仕分けの大きな部分は、人間の手で行なっておりますので、出来れば、汚れているものは避けていただきたいのです。多少の汚れについては、再資源化施設からはクレーム等はありません。汚れているものをすべて受入れてしまうと、施設内が悪臭の元になってしまいます。</p> <p>現在でも、可燃ごみも混入している状況なのです。それで、一線を引いております。</p>
会 長	<p>プラスチック類は、昭和電工にいつているのですか。</p> <p>ラップ類も同様に処理しているのですか。</p>
委 員	<p>容器包装リサイクル協会ルートに乗せ、処理を行っております。</p>
会 長	<p>協会ルートに乗せ、何処で処理されているのですか。</p>
事務局	<p>今年度は、昭和電工です。</p>
会 長	<p>汚れていても、問題はないですね。</p>
委 員	<p>協会の、基準によりランク付けされています。</p>
事務局	<p>協会の、基準は当初から変更されておりません。A ランク～D ランク</p>

	<p>クまでランク付けされ、毎年度、サンプルを抽出し排出元立会いで品質検査を行っております。</p> <p>協会の指定法人(再資源化施設)では、処理能力が上がっており教会では、汚れが多いとランクが下がりますが、再資源化施設では、能力アップによりある程度の汚れでも処理可能となっています。</p> <p>リサイクルセンターでは、人の手で処理を行っています。何処までが大丈夫なのか一線を引けません、ですから、出来るだけ汚れのないようにお願いしています。</p>
会 長	<p>汚れのひどいものを、多くしないようにしよう。このくらいの考えですね。</p>
委 員	<p>正しく出している人のほうが多いのですが。そうでない人が目立つのです。</p>
会 長	<p>他にご意見はございませんか。</p> <p>それでは、ここでこの議論は一区切りにします。</p> <p>事務局から提示されました、基本計画の改定案についてですが、事前に打ち合わせをすればよかったのですが、時間が取れず真っ白な状況で案をお聞きします。</p>
事務局	<p>いきなり案をお示ししましたが、今回、皆様方から答申をいただきこのような計画を作成したいと考えています。時期的に、遅くなっておりますが、現在これまで作成しております。</p> <p>5章まで作成いたしました。この後、皆様方のご意見を頂戴し基本施策、目標値を掲げ、ごみ量の予測を行い計画としたいと考えております。</p> <p>内容につきましては、計画の位置付けから始め、市の状況を示し、</p>

<p>会 長</p> <p>事務局</p>	<p>現状のごみ処理状況を説明し、その中から課題を抽出しまして、計画の前段階とさせていただきました。</p> <p>この計画は、以前の計画の改訂版とし、概ね今後 10 年間の計画で、5 年を目処に改訂を行なう、法律で定められた計画です。前回の計画は、平成 15 年 7 月に作成しここで 5 年を経過しますので、来年の 7 月を目処に改訂版を作成したいと考えております。</p> <p>計画は、審議会からの答申を基に、環境課で作成し、市民に説明し市の意思決定を行い、議会に説明し計画を出すこととしています。</p> <p>内容については、どうなっているのですか。</p>
<p>会 長</p> <p>事務局</p>	<p>以前の計画は、委託会社に委託し作成しました。今回につきましては、市の基本的計画は市で作成するとのトップ意思により、委託せずに環境課で作成をすることにいたしました。</p> <p>第 1 章はこの計画の値付け等。第 2 章は市の状況等。第 3 章はごみ処理の現状等。第 4 章は現状についての課題を抽出し、第 5 章では、現状のままの状況で進めた場合のごみの排出量等を推計しました。現在までは、ここまで作成しており、今後、この計画に柱である基本的考え方、個別施策を記述し、目標値を定めたいと考えています。</p> <p>皆様方から、ご提言いただきたいのは、基本的な施策等についてお願いしたいと考えています。</p>
<p>会 長</p> <p>事務局</p> <p>会 長</p>	<p>そうなりますと、一番最後にお伝えいただいた、計画の主要な中身については、白紙の状態なのですね。</p> <p>はい。</p> <p>計画の前提となる、データ等を示しているのですね。</p>

私自身、計画と称するには大きく3つの内容が必要ではないかと考えています。

一つは、目標値これは数値目標です。二つ目は、それを実現させるための手段になります。これは政策の具体的な中身です。三つ目は、主体です。どういう人間(会社等を含む)が行なうのかということです。目標値と手段と主体、この3点がないと計画としては意味を成さないと思います。

手段と主体の問題は、必ずしも分かれるわけではなく、誰が何をしなければならないかの関係になりますから、渾然一体になるのは当然です。ですから、目標を達成するためには何をしなければならないかということです。

逆を言えば、出来ないことを計画に書いても意味はないということです。前回の議論については、私は参加しておりませんが、目標値の決め方は、あまり実施可能性についての議論は無かったと聞いております。そうではなくて、実施可能性な目標を立てなければ意味が無いだろうし、10年間と期限が限られていることですから、10年後を見越して、行なうべきことを明らかにして、出来ないことを書いてもしょうがないことになります。

ですから、このまま現状を延長するでは、それ自身では政策にはなりませんので、現状の状況を変えていくために行なわなければならないのは当然です。5章で書かれている、今のトレンドを延長するようなものの実施は行ないやすいのですが、これ自身が目標になるのではなくて、これをどのように変えていくのが計画になります。

今の、3つの柱について議論を行けばよろしいのかと思います。いきなりこの場で、3つの点についてお話くださいと言っても、難しいと思います。

委員、何かお考えをお聞かせください。

委員	<p>現状はこうなっていますよと記述されています。では、将来どうするのか、それが盛り込む内容なのかなと思います。何を盛り込むのかどのような数値を目指すのか、それについての議論をするのは十分なのかなと思います。後2回～4回ですか、実質2回くらいしか議論が出来ないのかなと思います。目標値を示すのは、直ぐ出来ますがその根拠を示すには時間が足りない気がします。</p>
会長	<p>他の委員の方はいかがですか。</p>
委員	<p>これを拝見すると、来年の夏頃に計画を出すようですが、この予定は知りませんでした。</p>
会長	<p>このスケジュールは、最初から提示されています。私自身は、そのように理解しています。</p>
委員	<p>私が考えていたのは、目標を具体化するための政策はこのようなものがありますよ、こういうことが行なうのが望ましい。そこまで、提示されると思っていました。</p>
会長	<p>今、委員が発言されたように、数字を無根拠に動かすのであればこんなに楽なことはないのです。もう少し厳しい目標にしようとか、結局、今より上げるか下げるしかないのですから、ゆるい目標値を設定するのは昨今の状況ではできるものではありません。厳しい目標値を設定するとなると、では、1割削減するとか、そのような話になってしまいます。無根拠に設定するのであれば、次回にも目標を定めることは可能です。皆様方が合意すれば、どのような数値にも設定可能です。</p>

事務局	<p>問題となるのは、数字を変える場合の根拠なのです。今の目標値より 1 割削減するとする目標値とします。そうすると、その 1 割と言う数値にどのような根拠があるのかと言うことです。</p> <p>最終処分場が二ツ塚にあります。こちらは後何年持つのでしょうか。</p>
会長	<p>エコセメント化により、焼却灰等を埋め立てていたものを、現在は破砕不燃物だけの埋め立てですから、今後 30 年以上埋め立てられると考えております。</p>
委員長	<p>最終処分場を、いつまで使用するためには、どれだけ最終処分量を減らさなければいけないのか直ぐに計算できます。そこから、リサイクル率とか排出量を割り出すことは簡単です。ここから迫る方法もあります。</p> <p>どのような根拠で数字を決めるかです。最終処分場の耐用年数を考えに入れずに数字を決めても間違いではないのですが、そこから割り出すことも可能です。どのような考え方を、この審議会として立てるかだろうと思います。</p>
事務局	<p>最終処分場から、各市に割り当てられた数値があるのではないですか。</p>
事務局	<p>各市に対して、今後 5 年間の割当量を定めた、減溶化計画が定められています。</p>
会長	<p>計画は、基準年から毎年数%ずつ減量しなさいということですか。</p>
事務局	<p>5 年毎の計画です。今、資料は持ちませんが、予定配分量に対して</p>

	増減により、負担金を清算します。
会 長	そうしますと、それと整合的でない政策を基本計画として定めることは問題があります。
事務局	5年毎に、減溶化計画は変わります。
会 長	今の目標値は、整合性はあるのですか。
事務局	ないと思います。
委 員	前は、そのような議論は行なわれませんでした。
会 長	外側から決められている条件とか要請されている数値がありますよね、それとの関係を明確にしないといけません。最終処分量を減らすためには、リサイクル率を上げるか排出量を減らさなければならぬわけで、この2つの数字によります。 今、ここで目標値とされているものが、計算してみたら実は、要請されている量を上回っていたら話しになりません。
	この5年の計画は、いつまでの計画ですか。
	5年毎に厳しくなっているのですか。
事務局	ここでお伝えできる資料はございません。
会 長	単純に、量を減らす計画ではないようなのですが。
事務局	量と、負担金の関係があります。

委員	負担金の問題は、一定量が出た場合そこから割り出すのでしょうか。
事務局	人口等様々な要因に基づき決められます。
委員	いくつかの要素はあると思いますが、実際の搬入量から算出されるのでしょ。
会長	ここで議論するのは、費用負担の問題ではなくて、量を減らす要請が課されていることです。
事務局	各自治体が持つ焼却炉に能力の差があるものですから、最終処分場の目標値が合わなくても問題なく、各市が独自の減量のための計画を立てても問題はないかと考えます。
会長	<p>単純に、各市数%減らせとの要請ではないですね。</p> <p>他の自治体の動向によっても、判断が変わってくるということですか。そうすると、本市だけの計画を出しても意味がないですね。</p> <p>5年間の中で、要請として課せられていることは、外的制約になります。これは、委員から出された重要な論点です。</p> <p>他に考えられるものはありますか。</p>
委員	焼却炉の能力、耐用年数等の問題もあります。
会長	処理能力以上のごみが集まる実態はあるのですか。
事務局	現在、衛生組合では小金井市のごみを、年間 2 千トン受け入れていますので、能力的には十分あると考えます。

会 長	<p>ネックになるのは、中間処理能力ではなくて最終処分です。目標値との関係で、整合性を採らなければものなのであれば、考慮しなければならいことになります。</p>
事務局	<p>次回、最終処分場の減溶化計画等を次回お示しいたします。</p>
会 長	<p>排出量とリサイクル率両方に関係してきます、リサイクル率に関していえば、私自身は、混入率の関係で目標値を決められると考えます。これに関しては、分別すれば問題は解決するわけで、そうなりますとあっという間に、現在の目標値を達成できてしまいます。それを根拠に現在の目標値を上回る数値を設定できます。</p> <p>手段との関係で言いますと、一つは本日お話をお聞きした、学校での取り組み等が考えられますし、個別にはどのような施策を展開するのか議論の対象になります。1人当たりの排出量と最終処分量およびリサイクル率を考えるのが妥当と考えています。</p> <p>私が、以前からお願いしている資料で、まだ出されていない資料があります。ごみ総量に対しての技術的に決まってくるリサイクルの率を経年を出していただきたいかったです。それが、データとしてないと計算できないのです。</p>
事務局	<p>技術的には、どのようなことですか。</p>
会 長	<p>今、中間処理技術を前提として、ごみが一単位排出されたときに、それがリサイクルされる率です。</p> <p>これを、行なっていたら計算できると思います。</p> <p>人口の動態を与え、一人当たりの排出量を与えればリサイクル率が決まってくる。完全に分別が徹底できた場合のリサイクル率です。</p>

事務局	完全に分別をした場合の、最高のリサイクル率でしょうか。
会 長	最高リサイクル率みたいなものです。
事務局	組成分析の結果で、推定すればよろしいわけですね。
会 長	そうです。 それを行なえば、各数値の相互関係が予測できるはずで す。 今回は、最終処分量の減溶要請がどの程度か、もう一つは最大リ サイクル率を出していただき、それを人口と外的要因からくる最終処 分量との関係で、リサイクル率の幅とか、1人当たりの排出量の幅な どが計算できるのではと考えます。そこまで試算していただければ議 論しやすいと考えます。 それを達成するための手段、主体の役割などを検討していけばよい かと思います。 日程(案)に示された、3月に素案を示すことは難しくないと考え ます。 次回会議 1月29日(火)午後2時からとする。